

令和5年度定期監査における意見・要望事項

企画政策部 企画政策課

○市制施行70周年記念事業について

令和6年3月31日で本市は市制施行70周年を迎える。実行委員会を組織したうえで意思決定し、市民とともに祝う記念事業などを実施するとのことである。また、千葉県では令和5年度、千葉県誕生150周年記念事業を開催したところである。両周年事業については時期的に近接する期間に開催されることから、シナジー効果を発揮できるよう事業の開催形態など協力体制等も含めた協議を検討されたい。

シティプロモーション部 観光プロモーション課

○成田ブランド推進戦略事業について

「成田市御案内人 市川團十郎白猿プロジェクト」及び各種関連業務委託については、本市のブランド力向上に多大な効果をもたらすものであるが、事業者の実施した具体的な業務内容等について事業報告書の提出がないことから、現状では事業者側の主体的な取り組みの状況や事業効果が市民目線で客観的に示されているとは言えない。これらの見える化をはかり、委託契約の在り方も含めて検討したうえで、市民の理解のもとでより効果的な事業を展開されたい。

シティプロモーション部 スポーツ振興課

○運動公園等管理事業について

重兵衛スポーツフィールド中台50メートルプールの可動床を活用し、夏季プール開場期間外において、平坦にした床の上に人工芝を敷設してフットサルやヨガ等を行う多目的広場としての利用を図るとのことで、施設の維持管理については人件費を含めると年間1千万円を超える経費を見込んでいるとのことである。市民サービスという側面があることは理解できるが、今後は、経費節減や利用率の向上策などについて検討されたい。

市民生活部 交通防犯課

○JR成田駅西口駐輪場等整備事業について

「基本・実施設計委託料」、「解体工事実施設計」、「地質調査委託料」について2千万円を超える予算が計上されていたが、未執行となっている。基本設計に向けた各種調整について時間を要していることから計画が繰り延べとなっているとのことだが、関係課とも十分に協議のうえで、可及的速やかに事業に着手されたい。

福祉部高齢者福祉課

○オンデマンド交通高齢者移送サービス事業について

当該事業はオンデマンド交通による高齢者の外出機会を増やすための交通手段として有効に活用されていると思料する一方、平成23年12月から10年以上継続して行っている中で、未だ実証運行として完成形の途上にあり、これまでも今後の具体的な見直しの方向性について明示するよう言及してきたところである。利用者の固定化や交通事業者との調整等、多くの課題があることは理解できるが、地域公共交通計画に示された令和8年度に予定される見直

しに向けて、より一層注力されたい。

経済部 商工課

○企業立地促進事業について

新たな企業の進出及び既存企業の再投資などの環境整備を図るため、企業立地のための土地利用の基礎調査として企業アンケート調査等により企業ニーズや立地の可能性を把握し、企業の進出を促すための施策を検討するとのことだったが、このアンケートの回収率が低いものとなっていた。今後は事業開始当初より効果的な手段をとられたい。また、業務委託先についてはプロポーザルで選定されたとのことだが、業務目標達成のためにこれまでの実績等も考慮したうえでより慎重に選定されたい。

土木部 土木課

○契約締結にかかる現地調査について

工事請負契約において、契約金額の変更理由として木根等の運搬量及び処分量が想定外に増えたためというものが見受けられた。契約締結にかかる現地調査は適正になされているものと思料するが、当初想定との乖離があまりにも大きい場合に調査方法等に疑義が生じかねないことから、より慎重な調査を期されたい。

教育部 学校施設課

○成田市大栄みらい学園テニスコート整備工事について

当該工事は令和4年12月に着工し、令和5年4月に竣工しているが、関連工事と合わせて開発許可に伴う検査を受けないと使用できないため、一年間ほど使用できないとのことである。約4,700万円の高額な工事でもあることから、関連工事を早期に完成させ、速やかに使用できるよう、調整を図られたい。

教育部 生涯学習課

○明治大学・成田社会人大学運営事業について

市民に専門的な学習の場を提供し、国際化時代に対応できる人材を育成する目的の事業であるが、令和5年8月現在、国際社会課程が定員100人に対し受講者数40人、現代時事課程が定員100人に対し、受講者数24人と少ない状況である。事業開始時期から年数が経過し、状況も変化しているので、現状を踏まえた事業のあり方を再検討されたい。